

報道発表資料の配付日時 4月30日(火) 10時00分

発表項目 (行事名)	「企業経営者意識調査(令和6年1-3月期)の結果について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道では、道内900社の企業経営者を対象に、自社の経営状況や北海道内の景況感などについて、四半期ごとに調査を実施しています。</p> <p>このたび、令和6年第I四半期(1-3月)の調査結果を取りまとめましたので、お知らせします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【調査方法等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道内企業900社を対象に、自社の経営状況や景気の見通し、経営を取り巻く環境変化などについて、四半期毎に調査を実施。 ・調査時点：令和6年3月31日 ・調査方法：「郵送」または「インターネット」によるアンケート調査 ・回答企業：536社(回答率59.6%) </div> <p>【今回調査(令和6年1-3月期)のポイント】</p> <p>①定例調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今期の業況感BSIは、前期(R5.10-12月期)から1ポイント下降し、△7ポイント。来期(R6.4-6月期)見通しは、△6ポイント。 <p><small>※BSI(Business Survey Index)指標について この調査では、企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して(景況感は前期)、「上昇」「横ばい」「下降」の選択肢により調査し、各BSI指標を次により算出。 BSI=(「上昇」とする企業の割合(%))-(「下降」とする企業の割合(%))(-100≤BSI≤100)</small></p> <p>②特別調査</p> <p>(1)原油・原材料価格高騰の影響について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査開始以降(R3.10-12月期～)、『影響がある』と回答した企業の割合は、9割を超える高い水準で推移。 <p>(2)価格転嫁の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査開始以降(R4.7-9月期～)、徐々に進んでいるものの、依然として『価格転嫁が進んでいない』企業が半数程度存在。このうち『必要だが全くできていない』企業は2割を超えている。 <p>(3)人手不足の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正規従業員について、『不足』と回答した企業の割合は、調査開始時点(R5.7-9月期)から4.2ポイント拡大し、人手不足感が強まっている。 		
参考	<p>詳細は、道の下記ウェブサイトをご覧ください。</p> <p>https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/bsi.html</p>		

報道(取材)に 当たい のお願い	
他のクラブ との関係	同時配付 : (配布先) 北海道経済記者クラブ (場所) 札幌市中央区北1条西2丁目北海道経済センター6階
担当 (連絡先)	経済部経済企画局経済企画課課長補佐(経済調査係) 古井玉美 TEL ダイヤルイン 011-204-5139 内線26-903